植樹式2004



時の蘇生・柿の木プロジェクト



2月20日	取手市立取手第二中字校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
3月20日	アレアルディ—幼稚園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3月20日	ガーデン・センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3月20日	リボルテラ幼稚園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3月21日	ベニールの館 イタリア・ヴェローナ県・ソンマカンパーニャ市	5
3月24日	聖エ リザベス・センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3月26日	ホリーガート・スクール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4月1日	フランカヴィッラ・アル・マーレの博覧会会場 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
5月23日	アジョン庭園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	大垣市立興文中学校 日本·岐阜県·大垣市	
	大垣市立江並中学校 日本·岐阜県·大垣市	
	大垣市立南中学校 日本·岐阜県·大垣市	
	大垣市立西小学校 日本·岐阜県·大垣市	
	大垣市立綾里小学校 日本·岐阜県·大垣市	
	大垣市立南小学校 日本·岐阜県·大垣市	

取手市立取手第二中学校

日本

茨城県・取手市 2004年2月20日

取手市立取手第二中学校の PTA 会長・貫井徹さ んが柿の木プロジェクトを中学校に紹介、中学 校より学校創立50周年を記念して植樹の申込み がありました。取手市では毎年、市内の中学校 から学生2人ずつを中学校親善大使として広島 に派遣しています。生徒達が広島で学んだ戦争 の愚かしさ、平和の尊さを伝えようと生徒会と 学校職員が協力して植樹式を企画しました。

植樹式当日はブラスバンド部による演奏の中、 1、2年生300人による合唱「世界にひとつだけ の花」が披露され、学校親善大使2名が「戦争 の悲惨さを忘れず、今を力強く生きることを誓 います」と誓いの言葉を発表しました。プロジェ クトの DVD 上映ののち、海老沼先生出席のもと 2本の柿の木が学校正面玄関に植樹されました。 植樹式は、県立高校の受験を | 週間後に控えて いたため、3年生を除き、I、2年生を対象に実



施しました。 しかし、その 晩放映され たNHKニュー スなどの様子 を見た3年生 より要望が出



て、急遽3年生だけを集めての柿の木プロジェ クトの DVD 上映会が行われました。

2005年 | 月9日取手市民会館にて「取手市少年 の主張大会」が開催され、取手第二中学校の生 徒会代表の生徒から「被爆柿の木二世」の植樹 についての発表が行われました。2005年10月 29 日には取手第二中学校創立50周年の式典が開 催され、宮島達男から中学校へ50週年をお祝い する「柿の木プロジェクトのイラスト」を贈呈 しました。この後も取手第二中学校のプロジェ クトは継続的に市報でとりあげられ、2009年、 光村図書出版(中学 | 年生向け)の道徳の副読 本に柿の木プロジェクトが紹介され、そのペー ジの中に取手第二中学校の植樹式の様子が掲載 されています。

2020年8月の取手市の機関誌「広報とりで」は、 大きくなった柿の木と取手第二中学校の生徒が 表紙をかざりました。

アレアルディー幼稚園

イタリア

〇 ブレシア県・デゼンツァーノ デル ガルダ市

2004年3月20日

2000年に植樹を行ったイタリア・ブレーシアの 植樹中心者のダリオ・ゾーニョさんの友人、日 伊文化協会のロザリオ・マニセラさんの紹介で デゼンツァーノ市のアレアルディ―保育園、リ ボルテラ保育園、ガーデンセンターの3か所の 植樹が実現しました。

植樹式当日は午前中、リボルテラ保育園での植 樹式を行い、I5 時からアレアルディ―保育園で の植樹式です。保育園のこども達と保護者方々 がたくさん集まり、海老沼先生出席のもと1本 の柿の木を園庭に植樹しました。園舎の窓には

たくさんの大きな柿の木の絵が貼られ、その後 軽快な音楽の流れる中、真ん中でこども達によ る被爆柿の木の物語の創作ダンス劇が行われま した。柿の木を囲み皆で輪になり踊りました。 最後にこども達は柿色の風船を飛ばしました。 風船には葉っぱのようなものが結びつけられて いて、その葉っぱには「柿の木のように育ち、 春。冬は身をひそめ、悲しみの雨を、秋に身を つける。太陽の陽をあび、枝をのばし、私たち はその枝のように手をからませて身体が満たさ れる。」という詩が書かれていました。こども 達のエネルギーが爆発する楽しい植樹式でした。







ガーデン・センター

イタリア

〇 ブレシア県・デゼンツァーノ デル ガルダ市

2004年3月20日





2000 年に植樹を行ったイタリア・ブレーシアの植樹中心者のダリオ・ゾーニョさんの友人、日伊文化協会のロザリア・マニセラさんの紹介でディゼンツァーノ市内2ヶ所の幼稚園(アレアルディー保育園とリボルテラ保育園)の植樹とともに、市内にあるガーデン・センターにも2本の柿の木が植樹されることになりました。

3月20日、2つの幼稚園の植樹式の日の午前中、ガーデン・センターのスタッフに 実行委員の手から2本の柿の木が手渡されました。後日、柿の木はハウスの前に植 樹されました。幼稚園にも設置された同じプレートが柿の木の根元に設置されてい ます。



リボルテラ幼稚園

イタリア

〇 ブレシア県・デゼンツァーノ デル ガルダ市

学 2004年3月20日

2000 年に植樹を行ったイタリア・ブレーシアの 植樹中心者のダリオ・ゾーニョさんの友人、日 伊文化協会のロザリオ・マニセラさんの紹介で デゼンツァーノ市のアレアルディー保育園、リ ボルテラ保育園、ガーデンセンターの3か所の 植樹が実現しました。アレアルディー保育園と リボルテラ保育園はこの年新しくオープンした 保育園。オープンを記念して植樹の申し込みが ありました。当初、2003年の9月の保育園開園 と同時に植樹を希望されていたのですが、柿の 木の事を考慮し、苗木にとって一番条件の良い 3月に植樹式を行いました。

事前学習で「平和のための科学反応」という授業が行われました。「戦争」というものは人間の科学反応によって生み出されるが、同じように、人間のつながりや出会いという科学反応によって「平和」も生まれてくるという内容。また、物や生命の大切さを知るために、各教室には「食べ物」や「海の生き物」といったものを展示していました。

植樹式は保育園のこども達と保護者がたくさん 集まり、海老沼先生出席のもと | 本の柿の木を



園庭に植樹。市長、海老沼先生の挨拶の後、こ ども達が制作した柿のちぎり絵など数点の作品 の発表をしました。その後、ギター演奏のも と、みんなで楽しく歌を歌いました。先生、保 護者の方々、こども達の | 人 | 人が一体となり、 柿の木を歓迎してくれている想いがとても伝わ る、笑顔の絶えない植樹式でした。

この年をきっかけに、ロザリオ・マニセラさんはそれから、デゼンツァーノのあるブレーシア地方を中心に20か所以上にもおよぶ場所に「被爆柿の木二世」の苗木の植樹を実施してくれました。





ベニールの館

イタリア

○ ヴェローナ県・ソンマカンパーニャ市

学 2004年3月21日

ロコモティバ・フマンテ文化協会の会長、ルッ チオ・アレグリさんより申込みがあり、ビラ・ ベニール公園で植樹が実現しました。公園の中 には 1800 年に建設された「ベニールの館」と いう歴史ある建物があり、植樹式当日、この建 物の中には色彩豊かなこども達の絵とメッセー ジがたくさん展示されていました。

植樹式は公園で行われ、市長代理、会長、海老 沼正幸先生の挨拶の後、地元吹奏楽団の演奏の 中、こども達によって賑やかに2本の柿の木が 植樹されました。たくさんのカラフルな風船に 平和への願いを書いた紙をつけて空高く飛ば しました。植樹後も建物の中で日伊文化協会 「FUJIKAI」の協力のもと、習字、お茶会、折り 紙などのワークショップが行われました。現地 事務局ではルッチオ・アレグリさんとルチア・ チプリアーニさん監修のもと、柿の木プロジェ クトを紹介する本を自主制作していました。 また、植樹式のためのポスターやカードを制作。 参加していただいたお客さんに配布し、より多 くの方にプロジェクトのことを知ってもらうこ とができました。







聖エリザベス・センター

イギリス

ハートフォードシャー

2004年3月24日

聖エリザベス・センターは 100 年の歴史を持つ てんかん患者のケア施設。てんかんで苦しむこ ども達の学校も併設されています。この年、聖 エリザベス・センターでは 100 周年を迎えるた め、センター、学校、地域住民が一緒になって 行うイベントを計画していました。100周年祭 のプロジェクトリーダーはアーティストのレ イ・ロルフさん。レイさんは 2001 年のロンドン のフィンズベリー公園の植樹式に参加、運営も 手伝っていました。その時"参加者の中に良い 意識が生まれてくるのを見た"と聖エリザベス・ センターでの植樹を申し込みしてくれました。

植樹式の当日は患者さんたちとその家族が施設 内の教会に集まり、それぞれが平和の願いを書 いた柿の葉を七色に輝く木につけていきまし た。式典には患者さんとその家族、地元の高校 生、ヘンリー・ムーア財団の館長が参加しまし た。プロジェクトについての話などを聞いた後、 旗と太鼓、マラカスなどでリズムをとり、平和

の旗を掲げながら植樹場所まで行進しました。2 本の柿の木を植樹すると同時に根本には平和へ の願いを書いた柿の葉を箱にいれて埋めました。

センターに滞在している多くの患者さんが参 加、特に戦争を体験した老年世代の方々にはた くさんの温かい言葉をいただきました。彼ら は戦争で友人を亡くし、町を破壊された本人た ちで、彼らこそが平和への生き証人。そうした 人々が柿の木との出会いを本当に喜んでくれま した。また代表であるシスター・アネッテは、 次のように語ってくれました。「柿の木を | 本 で育てるのではなく、そこに様々な木や人との 交流をもたらし、必ず「平和の森」に育てます。 同じ木だけの林でなく、森にすることですべて をはぐくみ、守る、そんな場所にします」。 この日展示された「平和の柿の木」や「平和の タペストリー」、別個制作中の「柿の木のモザ イク」は近年中に増設されるセンターに飾られ る予定とのことでした。







ホリーガート・スクール

イギリス

/ /ッティンガム

学 2004年3月26日

2003年、ホリーガート高校のウェ ンディ・アサートン先生から柿 の木の植樹申込みがありました。 学校では授業の中で事前にいく つかのワークショップが行われ、 日本をモチーフとしたつい立て には様々な飾り付けがされてい ました。



植樹式当日は日本から海老沼先生と実行委員がホリーガート・スクールを訪問し ました。植樹式には50名ほどの学生と先生が参加。実行委員から柿の木プロジェ クトのDVDを贈呈し上映、みんなで見ました。柿の木ふろしきの紹介を行い、 ふろしきを用いた簡単なワークショップを実施しました。海老沼先生出席のもと 2本の柿の木を校庭の大きな鉢に植樹しました。この2本の柿の木は、後に新設 される庭に植えられる予定です。植樹後は生徒によるバイオリン、フルートでの 「夕焼け小焼け」の演奏、また、浴衣やチャイナ服のファッションショーなど日 本文化を紹介する催しがありました。



フランカヴィッラ・アル・マーレの 博覧会会場

イタリア

キエーティ県・フランカヴィッラ・アル・マーレ市

学 2004年4月1日

フランカヴィッラレマーレ市のエグゼクティブマネージャーのフィリッポ セラ ソリ博士。市内の環境保護と緑地推進のプロジェクトを実施しています。以前イ タリアの植樹地のプロジェクトに関わったアーティストから柿の木プロジェクト のことを聞き、参加を申し込みました。

4月1日、市の花の博覧会の時に2本の柿の木を植樹しました。植樹式では地元ロー マの日本人学校のこども達がいけ花を披露してくれました。

アジョン庭園

フランス

日 リール

2004年5月23日







1998年、9月22日~11月15日にパリで開催 された日本人アーティストのグループ展「どな いやねん」展で展示した柿の木が2本ありまし た。展覧会終了後、1本は1999年フランス、ボ ルドー在住のシャンタル・ラッセル・ローさん の申し込みによりシステュード、自然公園に植 樹されました。残り1本は、展覧会企画者のエ リック・メチルさんがアビニヨンの美術館へ移 り、そこで保管し、大切に育てていました。

2004年、エリックさんはリールでも同様の展覧 会「あきまへん」展を行うことになり、柿の木 プロジェクトの紹介を行うと共に、大切に保管 していた柿の木を植樹したいと連絡がありまし た。植樹場所のアジョン庭園は専門の造園家が 管理している NPO の市民農園のような場所です。

植樹に先立ち、ボルドー在住のアーティスト でシステュード、自然公園植樹の中心者である シャンタル・ラッセル・ローさん、そして娘の ナディアさんが、こども達とともに石膏で小鳥 をつくるワークショップを行い、展示の手伝い をしてくれました。植樹式当日、シャンタルさ んはワークショップを行い、こども達に紙で出 来た衣装を着せ、近くの池から摘みとったハス の葉を帽子にしました。こども達はハスの葉に さまざまな色の顔料を好きなように乗せ、その 葉を池に浮かべ水を少しかけました。ハスの葉 の上にのせた顔料は水に溶け出しとてもきれい な水の絵となりました。ワークショップの間、 同じ展覧会に出品しているアーティスト野村誠 さんとその仲間の方々が飛び入り参加。周囲で 小鳥の鳴き声のような音を出してくれたり、式 典の最中もピアニカの即興演奏を行うなど、植 樹を盛り上げてくれました。